

『井戸』 一斉学習②

「水汲みをさせられる丑」を読む

丑は、三日めごとにまわってくる、掃除当番が、いやでいやでしようがなかった。

T 丑は、なぜ掃除当番がいやでいやでしようがなかったのか。

菜穂子 水汲みをさせられるから。

T そうだね。で、今日みんなでもう少し詳しく考えてみたいのは、「水汲みさせられることが、どうしてそんなにいやなのか」ということです。

もういちど、自分自分で読んで、そのわけが書いてあるところに線を引きなさい。

C 作業

みんなの仕事をみて回る (3分程)

T じゃ聞いてみますか。亜紀子

亜紀子 「5, 6 ぱいになると息がきれて、腕がしびれて、ひとつ汲むのに幾度も中休みしなければならなかった。」ほどえらいのに、それなのに、みんなは「丑なんしてんだ。井戸ん中さ鼻汁たらすんじゃ

ねえぞ」てな、文句いってな、空のバケツ放りだしてな、ほんで、みんなには、文句いわれながらしや

なあかんしな、ほんで、5, 6 ぱいになると中休みせなあかんほどえらいし、ほんで、いややった。

T 二つのこと言ったね。

えらいし、文句いわれるし。

智士 ぼくらでも、おんなじでな、そうじとうばんきたなかったらよ、みんなもやりなおさされる。

T はい、もうちょっときいていこう。寛子

寛子 丑は、力が強いかわりに不器用なこともやったでな、ほやし、腕がしびれて幾度も中休みしなければならなかった。不器用なのにそんなことやらされて、ほやけど、穂かの当番は、バケツを放り出してせなあかんさかい。

T 水汲みをむりやりさせられてることがかなん。

真人 みんなは、放り出してな、丑だけにさしてなあとで、あそんでるの。

智士 いや、みんなは遊んでへんと思う。

T ああ、それちよつとのこしておきましょう。もう少し、「いやでいやでしようがなかった」わけを聞いていきましよう。

裕幸 掃除してるときの次にかわってくれたらいいけどな、ずっと水汲みやろ。いやなことを、なんども

なんどもせなあかんで、いやでいやでしようがなかった。

T 「そのたんび」やな。必ずせんならん。のがれられないですね。てきとうにみんなでかわりばんこやったらいいんだけど丑はそればかりせんならん。それがかなん。

善崇 5, 6 ぱいになると息がきれて、のともぜんぶませてな、丑を水汲み専門の役目にしてしまったさかいな、ほのえらいのと、馬鹿にされてるのと、ほれを毎日、いうか、三日ごとにしなあかんでいやでいやでしようがないの。

T 善崇のいつてるのわかった？

勇也 わかった。あのな、いじめられるのと、5 はいや6 ぱいになるとえらいやん。それとがまじってる真人 みんなは、上でやすましてくれやらへん。

和幸 三日が毎日に思える。いつも3日めごとにこんなえらいことやってるやろ。とちゅうでかわってほしいけど、かわってもらえへんやろ。ほやさかい、毎日毎日いう感じ

力 あのな、丑はそうじ一生懸命やってるやん。それやのに、「おまえへたくそやんけ」とかいわれるしいやでいやでしようがなかったんは、つかれてるのにな、あげくのはてにみんなにもんくばっかりいわれてな、

勇也 初めの2, 3 ぱいはな、いせいよく水汲みやってるけどな、5 はいや6 ぱいになるとな、いきがきれてうでがしびれてるやん。それが、3日めごとにまわってくるで、つかれてるで、いやでいやでしようがなかったん。

T じゃ、いくつも出てきたから、もう少し一つ一つをはっきりさしていこうな。一つは、えらい。この仕事のえらさが、いやでいやでかなんということですが、そこ読んでみましょうか。

「はじめの2，3ばいはいせいいく車井戸のつるべをくりおろしていくが」くりおろす、てわかる？

Cs 動作する

T がらがらとおろしていくんやな。これらがららと（簡単に）おりていくんですか？

片方に水が入っているのを上げるときにもう一方がおりていくんですから、ひっぱっておろしていくんですね。「5はい、6ばいとなると、息がきれ、腕がしびれ」なんで、そんなになるの？

力 十間もあるで。

哲郎 深いし、空気がうすい。

T 18m。あの屋上よりもっと上から下までの距離をひっぱるんですからね。しかも、5はい、6ばい以上も汲む

「とちゅうで幾度も中休みしなければならなかった」

中休み、てどうしているの？「ああえら」て、横でやすんでるんですか。

力 ほんならびゅーとおちてしまう。

真人 しがみついて。

T 中休み、てのは、そこで力をぬけるんですか。

力 ぬいたらあかん。

勇也 きばりながら。

T 中休みといつても力をぬけない。それをくりかえすんですからね。

それが、いやでいやでしようがなかった。

ところが、みんなはそれだけじゃないといってるんだね。

その上にみんなから、馬鹿にされてるからだっていうんですが、それは、具体的にはどこに書いてますか。

裕幸 最後の方

智美 「丑なんしてんだ、井戸ん中さ鼻汁たらすんじゃねえぞ」というとこ。あのな、丑がないっしょうけんめい水くんでるのにな、そんなこと言われたら丑ももう水汲みするのかなんと思う。

智士 けどな、ほれはしようがないの。

T うん、ちよつとまってくれよ。その言葉がぐさつとつきささるんですね。

力 なんでこれ、反抗せえへんのやろ。

智士 できひんやんか。ほんなん、掃除できひんのやさかい。

T ちよつとまってくれ。それは、後で考えよう。

で、みんなは、これをどんな気持ちでいってるの？「丑なんしてんだ」これ、きいてるの？

Cs ちゃう

ばかにしてんの。

「なんしてんにゃ、はよせい」（おこったように）

T 「井戸ん中さ鼻汁たらすんじゃねえぞ」

これは、井戸の中に鼻汁がおちるとききたないからいつてるの？

Cs これもからかってる。

T 丑がりきんで、ひっぱってるときにこんなこというんですね。

力 ほんならよけいつかれると思う。

T ここがひとつ。ほかにまだ馬鹿にしてるところある？

力 なんで二人でせんかったんやろな。

和幸 人数がたらんかったで。

大輔 あっわかった。丑といっしょにするのがかなんで。

T どうですか。どうして、丑ががんばってる時「おれも手をかしてやろう」としないのか、という問題考えていらん。

和幸 ひとりぼっちゃで。

力 友達やったら、こんなこといわんと思う。

これ、ともだちやったら、「おう、わいも手伝ったるわ」ていう
和幸 丑はひとりぼっちやで。

T だから、みんなは、丑を友達と
力 思っでない。

智士 いやほんなことはない。ほんなん、井戸にはいるときいろいろしてやってる。

力 ほれは自分が入りとうないさかいやんか。

T みんなどうですか。

力 はみんなは丑を友達と思っっていないという。智士はそんなことはないという。どっちですか。

C s 友達じゃない。

大輔 のけもんよ。のけもん。

T どこ読んでそう思うの？ それを言ってくると智士もなっとくするよ。

智子 「こんなことをいいいい、他の当番は、空のバケツを放り出して」て書いてるやん。ほこのところ、べつにいそがしくはないけどな、丑を馬鹿にしてるからな、そんなところまで、歩いていけるか、とか思ってるさかいにな、友達じゃない。

大輔 丑がつるべをおろしてるやん。ほのときにな、他の当番はな、空のバケツをバアンと放り出していくんやさかいな、もし友達ならな、手伝うさかいな、だれもいいひん。

真人 もし、丑にてつどうたつたらな、その手伝った人もな、馬鹿にされる。

T 智子がいったように、バケツを放り出していく、というのは、丑をまともに相手していませんね。

裕幸 なんか自分より下の人間とおもってる

T ほうすると、これもわかるんじゃない。丑を水くみ専門にしたのは、丑は他の仕事ができないからしかたがなく水くみにしたのですか。

C s じゃまやったで。

じゃまやし、やりなおしがいややで。

T やりなおしがいやだから？

裕幸 自分らがな、水くみとかえらいことするのがかなん。

T わかる？

和美 自分らがな、水くみしてえらいめするのがかなん。

T ね。力がつよい丑でさえも大変な仕事を自分たちがするのはえらいでかなん。だから、ちょうど丑が真人 力もあるし、そうじもへたやし。

C ちょうどいい。

T そういうことがあるわけでしょ。

「水汲み専門の役目にしてしまったのだ。」

て、書いてるでしょ。ここは、丑と話しあいできめたのですか。

C s いや、自分たちで勝手に。

T 勝手に強引にね。で、そこで、問題。

じゃ、丑はそんなにひどいめにあいながら、なぜ何もいわないんだろうか、と行ってましたね。それをこれから、考えましょう。

そういう仕打ちに対して、丑はどうしたって書いてる？

和幸 「フウとためいきをつけて、また……」

T 何も言い返してないですね。ただ、「フウとためいき」です。力 なんて反抗せえへんのやろ。

T みんなちよつと考えて。1分間時間あげるから。

C s 読んで考える。

T じゃ、聞いてみようか。浩生

浩生 ゆうたらな、いじめられる。

T もつといじめられるのがこわかった。

和幸 ゆうてもな、「おまえがそうじしたらやりなおしさせられる。」

どうせ、ゆうても文句いまくられるだけやで。

幸則 ゆうても文句いわれるだけやで、ゆうだけむだ

大輔 けんかするのがこわいでかなんの。

善崇 ぼくはな、自分がな不器用やさかいな、ほら、じゃまになるというのもわかってな、やっぱり少しはがまんしなあかなとおもってる

T ああ、善崇はまたちがうね。
真人 トッチといっしよや。

T 智士といっしよやね。もういっぺん言ってくれる？

おまえは、しゃあないんや、いうんね。

智士 丑は不器用やん。ほんで、どうしてもできひんでな、水汲みしかしかたがないの。

T と自分でもおもってるんだ。善崇もそれに近いのね。

「おれは不器用やし、みんなから文句いわれてもしかたがないなあ。」という気持ちもある。
どうなんでしょう。

チャイム

じゃ、問題として残しておきましょう。
今でているのはね、

①もっとひどいめにあうとかなんからがまんしている

②どうせいつてもむだだ

③自分でしかたがないとあきらめてる。

「山田先生のコメント」

この時間は山田先生が見ていて下さった。 山田先生は、
授業の流れはよくわかったんだけど、ついていくのがえらかった。一つの問題を考えているうちに次の問題が出て、じっくり考えている子ほど、聞くのがたいへんだったんじゃないかという気がした。」と言われた。
また、

「女の子が発言しないのは、しないのじゃなくて、したくてもできないんじゃないかと思う。活発に発言する男子に中にわりこんで発言するのは、さうとう勇気がいる。おとなしい子には、とてもできないだろうと思った。」

山田先生の言われたことは、すべてその通りだと思う。これからの「井戸」の学習の中で、なんとか解決したい問題だ。